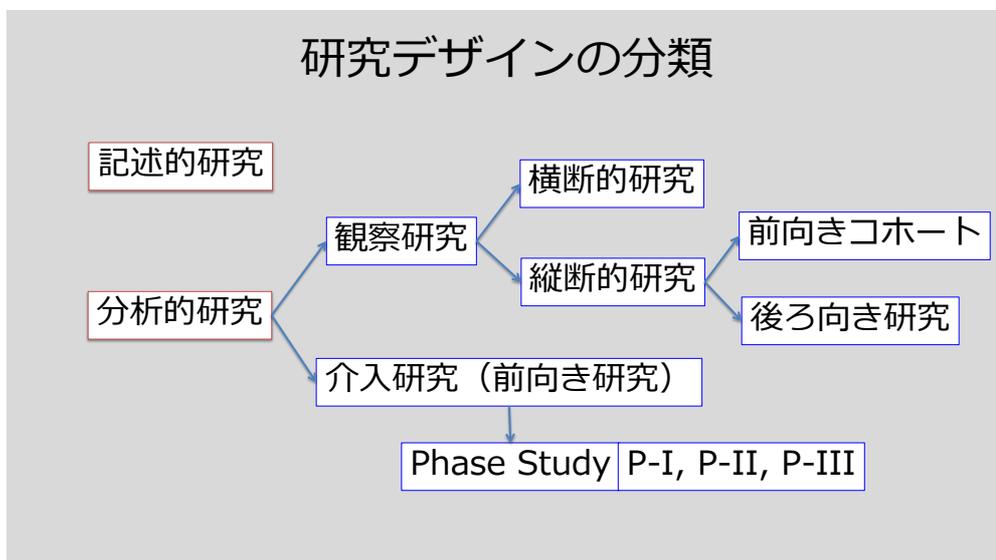
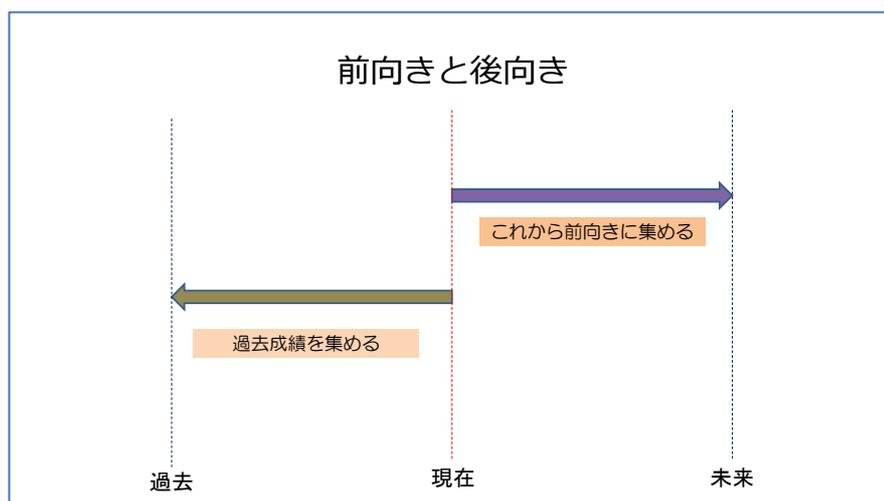


後向き症例集積研究 Retrospective study



- 後向き症例集積研究は「観察研究（介入しない）」、「縦断的研究（時間幅がある）」過去の症例から仮説を検証しようとする研究デザインです。
- 前向き症例集積研究はこれから介入して検証するのに対し、後向きでは過去の症例をカルテなどから調べて検証して行きます。



- 前向き症例集積で行う第 1-3 相試験のお作法に準じて、後向き研究を行って下さい。
- 原則としてカルテ調査ですので、患者さんの同意は要りません。
- 集める症例数に決まりはありませんが、「仮説」が検証できる症例数が推測できていれば、どこまで過去のデータを調べたら良いのかが分かります。
- 過去の症例では欠落データが多いのが欠点です。